



吾妻小学校だより

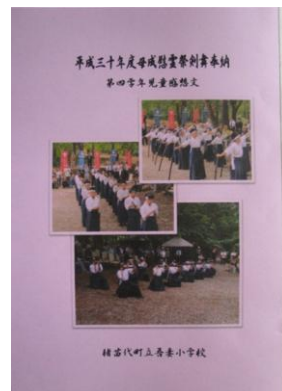
猪苗代町立吾妻小学校

平成30年 9月14日 第16号

母成慰霊祭剣舞奉納作文から

8月21日（火）は母成峠の戦い東軍殉難者慰霊祭がおこなわれました。本校では剣舞奉納が代々受け継がれ、4年生が剣舞の奉納を行いました。会場は母成慰霊碑前広場です。4年生の保護者の方々にご協力いただき立派に奉納することができました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

今年度は、指導計画に「事後指導」として、感想文を書き剣舞の練習や奉納を通しての学びをふり返る機会を設けました。



けんぶを終えて

鈴木 理心

始まる前は、とってもきんちょうしました。

「まちがえないかな。おはかに、背中を向けなくて回れるかな。大丈夫かな。」と、ずっと考えていました。

本番直前、きんちょうでおなかがいまいくらいでした。入場の時は、気づかなかったのですが、けんをぬきわすれてあせったけれどその後は上手に出来ました。練習でまちがえたところも、しっかり修正して、上手におどれました。

帰って母や姉や父に、

「上手にできたね。」

といわれてとってもうれしかったです。

二日後、新聞を見てみると、四年生十五人がかつこよくうつっていて、とってもうれしかったです。

あづままつりも今回みたいに上手におどり、来年の四年生にひきつぎたいです。

けんぶを終えて

渡部 佳音

わたしは、けんぶをいっしょうけんめいがんばりました。気をつけた所が三つあります。一つ目に気をつけた所はひざまずく時の右左に気をつけました。右左まちがえないでできました。二つ目に気をつけた所は、刀をぬく所です。しっかりとぬけました。三つ目に気をつけた所は、刀をしまう所です。向きもまちがえずにしました。

十六才から十七才の少年がたくさんの命を落とすのは、とても悲しかったです。今と昔では、全くちがいます。昔は、せんそうがあつたけれど、今は日本ではせんそうがありません。

次はあづま祭ではっぴょうがあるので、あづま祭ではもっとがんばりたいです。